



各学年の大きな行事が実施できました



<3年生：修学旅行>

緊急事態宣言が明けた6月21日～23日まで、修学旅行のテーマBEST (Better Enjoy School Trip) ～よりよく、楽しい、修学旅行～をテーマに、石川県と岐阜県に行ってきました。兼六園や金沢城、21世紀美術館など、金沢ならではの見学地を訪れ、金箔貼りや和菓子作りも体験し伝統文化にふれることができました。また、SDGsに関する学習の一環として、千里浜再生プロジェクトにも参加してきました。その模様が6月24日の中日新聞朝刊に掲載されました。今までの学びを振り返り今後につなげるよい機会がいただけたと思います。(中日新聞社さんより許諾をいただきましたので、右の記事をご参照ください。)

3日目は、めいほう高原で仲間と自然を感じながら、ジップラインやカヌーなどの貴重な体験をしました。例年とは全く違う修学旅行を計画することはとても大変なことでしたが、先生と生徒が一丸となって準備を進めることができ、充実した時を過ごせたようです。

<2年生：職場体験学習>

例年の職場体験学習は、多くの事業所にご協力いただき、働くことを体験させていただいていましたが、今年は名古屋港水族館で水族館を支える舞台裏について教えていただきました。生徒たちは、とりわけ飼育員さんからの話が印象深かったようです。また、水族館の仕事には飼育員以外にも多くの仕事があり、たくさんの人が協力し合って成り立っていることが実感できたようです。

午後からは常滑焼作りを体験しました。思い通りの形にならず苦戦している生徒もいました。ものづくり体験を通して仕事の大変さややりがいについて考える機会になりました。



砂浜 浸食から守ろう



砂浜に砂をまく「一人一砂運動」に協力する生徒たち＝石川県羽咋市の千里浜海岸で

あま・七宝中修学旅行 石川で保全活動体験
修学旅行で石川県を訪れた、あま市七宝中学校の三年生約百四十人が二十二日、同県羽咋市の千里浜海岸で浸食被害が進む砂浜を守る活動について学び、ごみ拾いや砂まきをして美しい砂浜が未来に残っていくことを願った。
愛知県などの緊急事態宣言が明けたことから、同校は十一日から二泊三日で、同市職員らに二〇一一年から続ける海岸保全対策について話を聞いた。同市が保全活動の意識向上のため呼び掛けている「一人一砂運動」に協力し、千里浜海岸に砂をまいて砂浜を増やす活動も体験。海岸に漂着したプラスチックごみなども拾い集めた。
初めて訪れたという友田滯さん(三)は「すごくきれい。地域の人みんなで地域のことをがんばって戻そう」と話した。
(大野沙羅)

<1年生：校外学習>

6月24日に瑞浪市民公園へ校外学習に出かけました。公園内のサイエンスワールドでは、ワークショップで実験・工作体験をし、サイエンスショーに参加しました。昼食後は班でオリエンテーリングに挑戦し、古墳や登り窯などを巡りました。天気にも恵まれ学年やクラスでの活動を通して協力する大切さを学ぶことができました。事後学習では、各自工夫を凝らして新聞形式でまとめをしました。

